

■ 経緯・目的

大型台風等の大規模災害や新型コロナウイルス感染症により、一時的なサービス提供へのリスク対応の必要性が高まっている。こうした状況に備え、事業所間の情報共有やネットワークづくりを構築する。

意見交換会・連携体制づくり ※保健所保健予防課の協力にて感染症対策研修もあわせて実施		ネットワーク参加状況 ※（ ）は市内事業所全体のうちの割合
①訪問介護事業所	令和2年10月12日（月） ・情報共有ツールの活用 ・事業所が一時休止になった場合の連携方法の検討	50事業所（48.5%）
②通所介護事業所	令和2年12月18日（金） ・オンライン上での情報共有 ・オンライン会議、連絡ツール ・事業所が一時休止になった場合の連携方法の検討	45事業所（35.2%）

